

『世界で哀が光る』と哀世物語
楊武強社新潮社十楊武光

心スドセうに推理作家の宮内彰吾
も不倫と母の間に生まれた僕
藤原燈真は十歳の時に重い病気に
かかりで紙の本が読めなくなつた。
その彼母が死闘官内も死んだ。
私は自分の死を遠くから様々な
生々しい会に宮内の遺作を探すお話。
頭の本の面白さ。

藤原燈真は様々な人と交流し不感
長すぎた過程と宮内の隠れた真実を
綴る本でじつは味方えはい面白すぎ
味方ええとさです。

『衝撃のラスト』を知らなかった僕
果が透明に見えなくてじやう。
という一文がとも好まひして。
岩井農場という作品よりか
届けし。本好きの図書委員